

入選標語さまる

「肱川をよごすまいや」の合言葉など

大切に運動だより

生活環境をよくする町民運動（略称）「大切」の推進本部では、この運動の標語を募集したい。しかし、たが、このまど審査会を開き親しみやすいもの十点を入選標語として選びました。

市内のみならず応募された作品は六十点におよび、どの作品もアイデア豊かで、審査員の頭を痛めかして来た。公募した池時茂さんのご協力を得て応募作品の中から十点を入選標語としたものです。

入選標語は、みなさんに読んでいただくため、本紙に掲載するほか、「ステッカー」として各家庭に配付することにしており、市民運動會賞品の鉛筆にも印刷しております。

多数のご応募をいただきました方々に感謝いたします。

入選標語は次のとおりです。

○公共施設はみんなのものです大切に
（中野高瀬郁子さん）

- 「脈川をよごす
まいや」の合言葉
(道の尾土居丸さん)
- よごさない心が
つくるよい環境
(大切に「運動推進本部員」)
- あつそこへ捨てないで
(大切)に「運動推進本部員」
- よい家庭よい習慣は
あななが手本
(大切)に「運動推進本部員」
- なごやかに親子の
会話つづく家
(下敷水城戸壽賀傳さん)
- ぼくほしい魚が
いっぱいいる小川
(大切に「運動推進本部員」)
- 「花いっぱい」
優しい心のかおる町
千手 富永良美さん)

道路愛護デー

十月五日、道路清掃の奉仕作業にご協力をいただきありがとうございました。



こんには赤ちゃん

大谷丸川勝行ちゃん（二年三カ月）

お口のまわりをちよつぱりよごし周囲の人達の忙しさをしりぬに、安危まごころ、蚕舎の架台の上ですやすやと昼寝の時間の主は、丸川勝行ちゃん、昭和四十八年六月十日生れ、生後一年三カ月、ちよんど一週間くらい前より足も丈夫になり、よちよち歩きまわり可愛さかり、「でも目がさめている時は一寸もゆだんはなりません」とお婆あちゃん。

男の子ばかりの兄弟で四番目の末っ子、在胎月数十カ月の低体重児（二、三五〇^〇_g）生れたときは骨と皮

ばかりのようで「これが元
 氣で育てられるだろうか」と心配したとお母さんの話。

栄養法は混合だけれど、
 ほとんど母乳で一日一、二
 回ミルクを補う程度、発育
 も順調で五ヵ月には標準に
 している乳児、町で月々実施し
 利用され五ヵ月より離乳
 開始、偏食もなく何でもよ
 く食べている。

現在体重一〇・二キログラム、身長七六・七センチ、胸囲四十七センチと標準体位で歯牙も十二本生え、何でも食べられる状態、ことばも「マンマ、ブーブー」等単語が言えて、母親も「生れたときは心配したが、どうにか知能のほうも普通に発達しているのではないか」と今ではひと安心。

「ほんととは女の子をまつていたが自由にならず、でも可哀な？」「あと女の子でも可愛い？」「もう女の子でもいりません」。

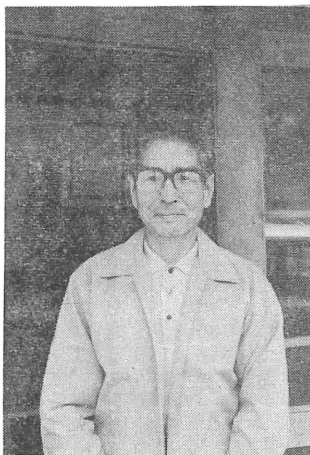
Smokin' Clean

スモークン・クリーン 街を自然を美しく

親の意志継いで三十年

—鹿野川駅長和氣章さん—

インタビュー



和氣章さんと親子は、製材工場を売って、父親の貞男さんは運送問屋をはじめ青年章さんは、予州銀川舟や筏、馬車などで輸送されていた時代であり、交通の要所であった鹿野川には、予土運輸K（昭和十八年頃廃業）もあった。

青年大学研究録によると「川舟は昭和十三年頃姿を消す。」昭和十三

ただ切符を売るだけでなし上手な切符の買い方や道案内も教えてあげたい——とそのまごころはつきない和気さん

行（現在の伊予銀行）へ入社した。

昭和十四、五年のことである。

現在の鹿野川駅は、このとき開業されたものである。

当時、まゆ、かじ、みつまた、木材等の産物は

年二月省営バス（大洲坂石間）運行開始」とあるから、トラックによる輸送がはじめられた頃と思われる。

終戦後「親父もとしをとり、私は長男で他所^{よそ}へも行けず、この仕事を始めたわけですらい。」

うして、章さんが二代目の鹿野川駅長となった。その当時は、国鉄の委託を受けて人と荷物の輸送を扱っていたが、昭和二十五年頃、公共性の強いこの仕事は個人ではできなくなり、日本交通観光社の下請として現在の業務が続けられている。業務内容は、取扱数量こそ違え大洲駅などと同じであり、年中無休、全ての報告が義務づけられ、年二回の帳簿の検査も行なわれている。ちなみに、鹿野川駅と同じ業務を扱っている駅は、南予線では、野村駅と日吉駅だけである。現在では、一日五十数回発着するバスの昇降客は、二、三百人を数え、都会へ出ている子や孫との贈答品など一日七、八十個の荷物を扱う鹿野川駅である。「報告ものや帳簿の整理は夜、自宅でやるんですらい」と、淡淡とおっしゃるが、そこには、貞子夫人の暖かい内助の功がうかがえる。「この仕事は、ええこ

と（収入）にはなりません。がな、やめては地域の人が不便されますけんな」。

また、「初めて旅行するのは心細いものですけんな」と嫁いだ娘さんのところへ初めて旅行するおばさん等には、地図に駅の名前や時間を書いて教えてあげると、「喜んで貰うのが生きがいですらい。」

さらに「上手な切符の買い方や、上手な荷物の送り方（荷造り）を教えるてあげたい。」とまごころはつきません。例えば、東京など（千き以上）（行くときは、往復切符を買えば、帰りの運賃は二割引きとなり、荷物は十きと二十きが料金の基準となっており基準以内の荷造りをすれば無駄な運賃を払わなくてよい。

鹿野川駅には、今日も栗が山積みされていた。鹿野川駅の仕事を知らぬとき、和気さんの人柄がしのばれる

（中野委員）

お知らせ

とき 十一月十日 五日、十三時—十五時

ところ 肱川町公民館

●幼児学級

とき 十一月二十五日 十三時三十分—十五時三十分

ところ 肱川町公民館

講師 聖カタリナ短大 講師 天野系枝 先生

演題 幼児教育関係のお話

●乳児健康相談

とき 十一月十八日 十三時—十五時

ところ 肱川町公民館

対象 生後二カ月よりお誕生までの赤ちゃん。その他希望者

●ねずみ駆除薬品のあつせん

あつせん価格 一袋(一〇〇g入り) 四十円

申込期限 十月二十七日

ねずみ退治は、全戸一せいに
行かないと効果がありません、
部落内で一斉駆除の励行を。

●町からのお金の受けとりは農協の「口座振替払い」をご利用ください。

10月1日

共同募金
目標 175,000円
ご協力ください。

よる水没、大規模な地這りと大きな事件があった。この部落を住みよい部落にしようという熱意は人一倍に強い。私が肱川へ帰って五年になるが、この間に、山首、硯の簡易水道工事、山首の消火栓防火水槽工事、肱栄農道舗装工事、テレビアンテナ受信工事等が実施された。わずかに十三戸の部落だが、心を一つにして部落を愛する姿は美しい。こ

「コレステロール検査」
「血液型検査」を受けましょう

動脈硬化とは、動脈の壁が厚くなり硬くなって弾力を失った状態で、さけたり（脳出血）つまったり（脳血栓）しやすくなったりすることです。

したり、病気で輸血が必要などとき知っているや便利です。血液型の検査もあわせて行ないますので、今までやったことのない人は受けてください。

間
〇〇～11:00
〇〇～1:30
〇〇～3:30
〇〇～10:30
〇〇～12:00
〇〇～2:30
〇〇～11:30
〇〇～2:30

「あんたは、どこな」ときかれる。「肱堂部落よ」と答えて、「ああそうかな」と返事がかえらないことが、しばしばある。そんな時の特効薬は、部落の酒のみの焼酎、大関綱、小関脇、正之

見は、部落の人全員が参加、町、農協、森林組合、地元議員さん、部落内で行った事業の施工者等、お客さんをまじえて盛大な酒の宴をひらく。お客さんは、たとえ一日の花見であっても部落の住民である。だから、私の部落の

部落实の主な生産物は、栗である。肱川の栗の約一割を生産する。生活の土台として、かもの餌の植樹、国道一九七号線添いの草刈り清掃、観賞木の植樹を行い、肱川で一番美しい部落にしようとする姿になっている。

部落自慢ばなし

肱 榮 橋 本 正 之

結と順次は、お客さん扱いは一切し
紹介する。歌い踊りあかすの
そうした。花見にまつわる珍談は
ら溜飲を一年をとうして部落の語り

が頭を寄せ合い、なんとかして草刈りを、栗ひろいをして、って手助けの相談をするのだ。

酒飲みと心

下げて、しばし、酒のみ談義がはづみ、その人と暖い心の胖が結ばれるのだ。私の部落は、酒を実によく飲む部落と、お墨つきをもらってか

草となって翌年の花見をきつのである。自慢ばなしの第一に酒のみばなしをしたが、酒は人の心を結ぶ良薬である。

私の部落は、ダム建設に

今、部落でも新旧の交代が徐々に進んでいる。私達は、肱柴部落の自慢である心を育ててくれた先達の伝統を守り、さらに住みよい部落にしていきたい。

お知らせ

● 妊娠検診
とき 十一月十
五日、十三
時―十五時
ところ 肱川町公

各部長まで
ねずみ退治は、全戸一せ
いに行わないと効果があり
ません、部落内で一斉駆除
の励行を。

● 幼児学級
とき 十一月二十五日
十三時三十分—
十五時三十分
ところ 肱川町公民館
講師 聖カタリナ短大
講師 天野糸枝
先生

「い」をご利用ください。

共同募金

目標 175,000円
ご協力ください。



共同募金
目標 175,000円
ご協力ください。